



# 株式会社 唐沢農機サービスだより

私たちは、**農の心**と**インターネット**で地元農家を応援します。

## 一年中”ご馳走イチゴ”を召し上がれ。 カラサワファームの”信州ごちイチゴ”。

7月中旬に定植した”信州ごちイチゴ”。そろそろ収穫が始まります。信州ごちイチゴという名前を初めて目にする方も多いと思いますが、これはカラサワファームのイチゴの商標です。イチゴはイチゴでも「これはご馳走だね!」と言われるような、味もカタチもゴージャスなイチゴにしたかったので、この商品名”信州ごちイチゴ”になりました。

「ご馳走」の語源はご存知ですかね。「馳走」とは「走り回る」という意味。昔はスーパーなどで食材が簡単に手に入るわけがなく、食事でお客様をおもてなしする時には食べ物を取り回して必死に集めていました。苦勞して調達した食材を使ったので、「馳走」が「贅沢な料理」「豪華な食事」に転じたそうです。

ハナシが遠回りしましたが、わたしたちも、信州ごちイチゴの名に恥じない、”ご馳走イチゴ”にたどり着くために、ちよつと苦勞をしました。カラサワファームが最初に育てたのは「紅ほっぺ」と「章姫」。確かに、どちらも高級イチゴとして有名で、美味しくカタチも立派ではありました。ただ、この2種は”二季成り”といつて、収穫できるのは冬から春にかけての期間のみ。年中採れるものではありません。しかし、”信州ごちイチゴ”は、とくに誕生日や記念日など特

別な時を彩ることも目指したイチゴです。夏秋に記念日がある方も多くいます。どこかに四季を通して採れる品種はないだろうか。いろいろ情報を集めるなど、探すために「馳走」をすること1年。やつと”信州ごちイチゴ”にふさわしい候補にめぐり合いました。

”灯台下暗し”とはよくいったもので、その品種が生まれたのはここ長野県。信州大学で品種改良された”信大BS89”です。”信大BS89”は、6年の歳月をかけて開発された”四季成りイチゴ”。文字通り一年中収穫できます。しかも、夏の高温下でも高い糖度を保ち、香りも強いのが特長。有名なテーマパークや一流ホテルに提供されるほどの”ご馳走イチゴ”です。

わたしたちが”信州ごちイチゴ”として世に送り出す”信大BS89”。もうすぐ出荷と相成ります。



## 【農機事業部発】農機具トラブルのアドバイス バインダーの結束不良。

### 「純正」の紐も解決策のひとつ。

#### バインダーのトラブルの8割は結束不良。

バインダーのトラブルはいろいろありますが、機械の不良のほとんどが、結束動作をする部分で発生しているのです。

#### 結束不良のいちばんの原因は”紐そのもの”。

バインダーの紐にはジュート紐とPP紐があります。ジュート紐はいわゆる麻紐、原料は黄麻です。天然素材ですから腐るので土に還元できますが、PP紐はポリプロピレンの合成樹脂。張力には強いですが、自然には還せません。地球に優しいのはジュート紐。この理由でわたしたちは、こちらを強くおすすめしています。

ただ、バインダーの結束不良の原因は、このジュート紐そのものによるものが多いのです。

#### 純正のジュート紐が、良い理由をひも解くと。

結束不良を起こすのは純正でないジュート紐。ホームセンターなどで販売されている汎用のものは純正に比べると格安になっています。しかし、その価格

差にはそれなりの品質の違いがあるのです。まず、安い紐は編んでいる細い麻の本数がとても少ないので、そもそも強度が低く切れやすくなっています。

#### 太さが均一で高精度な純正のジュート紐。

純正でない紐の最大の欠点は太さが均一でないことです。バインダーの紐の流れをコントロールしているのは”紐ブレーキ”。板と板の間に紐を挟んで、紐に一定の圧力をかけています。紐が太いとブレーキが強く効き、細いと弱くなる仕組みです。紐の太さが均一でないと、ブレーキに強弱ができるわけで、一定のテンションが保てなくなり、とすると、とくに細い部分で緩みが生じ、紐が絡まったり切れないことになるわけです。結束不良で何度も紐通しをするストレスから解放される早道は、「紐を純正に替える」ということになります。



お望みの部品がすぐ届く。  
三菱純正パーツ取り寄せサービスを開始。

「この部品があれば、自分で直せるのに」と思ったことはありませんか。そんなメカに自信のある方に、ぜひ、ご利用いただきたいのが三菱純正パーツ取り寄せサービスです。入手したい部品があれば、唐沢農機サービスのホームページをのぞいてみてください。三菱純正パーツ取り寄せサービスのフォームから、必要事項をご記入のうえ、お申込みいただければ、パーツリストをお送りします。届いたリストより欲しい部品を指定して、インターネットかFAXで送信するだけで、迅速なお取り寄せが可能です。部品の到着後すぐに配送しますので、わざわざ来ていただくことはありません。なお、現在は三菱農機純正パーツに限ってのサービスとさせていただきます。ご了承ください。



FIG. 507 ハンドル (MMR68)

No.	部品名	部品番号	取付位置	取付方法	取付順序	備考
1	ハンドル	MMR68-001	ハンドル	ネジ	1	
2	ハンドルカバー	MMR68-002	ハンドル	スクリュー	2	
3	ハンドルグリップ	MMR68-003	ハンドル	スクリュー	3	
4	ハンドルスイッチ	MMR68-004	ハンドル	ネジ	4	
5	ハンドルブレーキ	MMR68-005	ハンドル	ネジ	5	
6	ハンドルガード	MMR68-006	ハンドル	スクリュー	6	
7	ハンドル調整ボルト	MMR68-007	ハンドル	六角ボルト	7	
8	ハンドル調整ナット	MMR68-008	ハンドル	ナット	8	
9	ハンドル調整ワッシャー	MMR68-009	ハンドル	ワッシャー	9	
10	ハンドル調整スプリング	MMR68-010	ハンドル	スプリング	10	
11	ハンドル調整ピン	MMR68-011	ハンドル	ピン	11	
12	ハンドル調整シム	MMR68-012	ハンドル	シム	12	
13	ハンドル調整ネジ	MMR68-013	ハンドル	ネジ	13	
14	ハンドル調整ナット	MMR68-014	ハンドル	ナット	14	
15	ハンドル調整ワッシャー	MMR68-015	ハンドル	ワッシャー	15	
16	ハンドル調整スプリング	MMR68-016	ハンドル	スプリング	16	
17	ハンドル調整ピン	MMR68-017	ハンドル	ピン	17	
18	ハンドル調整シム	MMR68-018	ハンドル	シム	18	
19	ハンドル調整ネジ	MMR68-019	ハンドル	ネジ	19	
20	ハンドル調整ナット	MMR68-020	ハンドル	ナット	20	



唐沢農機サービスは、インターネットで中古の農機の「売りたい」「買いたい」を仲介する「ノウキナビ」というサイトを運営しています。このブログでは、いろいろな農機について情報を発信中。なかでも皆様のお役に立てそうな記事を、ひとつひとつご紹介したいと思います。

# 農機具を格納する時、やっておけば安心できる6つのポイント。

今回のテーマは農機具の格納。どういったことに注意すれば、来季も農機具が快適に活躍してくれるかを考えてみました。

## まずやるべきは洗浄です。

一所懸命に働いた後のひとつ風呂は、農機具も同じ。綺麗に洗ってあげましょう。汚れは錆の原因です。錆は機械の寿命を縮めたり、下取価格にも影響しかねません。洗浄はコンプレッサーがあればベストですが、ホースの水でも大丈夫。エンジン周りにはできるだけ水をかけないように、ロータリーなどに付いている泥や草を丁寧に落としましょう。

## 保管場所はやはり屋根付き。

機械にブルーシートをかけて、畑に野ざらしという姿を見ることがありますが、できるだけやめましょう。錆つきの原因です。望ましい保管場所は屋根付きのシャッター有りの倉庫。やむを得ず屋外に置く場合は、農機具屋さんで錆止め処理を行ってもらってください。

## ガソリンは抜きましょう。

純粋なガソリンもオイル混合のガソリンも、機械を長期間使用しない場合は抜くのが鉄則です。わたしたちは「腐る」と表現していますが、ガソリンは劣化します。ガソリンにはアルケンという物質が含まれていて、空気に触れると酸化するのがひとつの原因。ガソリンの揮発性の高い成分が抜けて、濃い成分が残る現象も劣化の要因です。劣化したガソリンを入れたままにしておくと、次シーズンに使う時、キャブレターなどに詰まってエンジンが動かなくなる可能性があります。ガソリンタンクが錆びるのも劣化の原因です。

## 「ガソリンの抜き方」

①エンジンが止まるまで掛けておくか、注油ポンプなどでタンクを空にする。  
②キャブレターの燃料抜きレバーがあるタイプは引く。キャブレターの底にネジが付いている場合は緩める。ディーゼルで使う軽油は大丈夫といわれていますが、劣化はします。やはり抜いたほうが無難です。

## ネズミ対策は万全に。

コンバインやハーベスターなどは、ネズミが機械の中に巣をつくったり、コードをかみ切ったりします。モミを1粒も残さないつもりで洗い流しましょう。

## バッテリーは外して保管。

バッテリーは、マイナス端子を外しておくことと長持ちするといわれています。が、おすすめは完全に降ろす方法。取り外したら、風通しのいい暗い場所に保管します。

## 水を使う機械は凍結防止。

動力噴霧機、スピードスプレーヤーなど、冬場の保管で大切なのが「水抜き」です。とくに寒冷地では、水が残っていると、ホースやポンプが凍結する恐れがあります。ただ、すべてのコックを開き、水を排出するには専門知識が必要です。簡単な方法は凍結防止剤（クーラント液）の使用。液をポンプに入れて、機械をまわし、液が全体にまわってから格納すれば安心です。



「農家直売どっとこむ」は、東信州の農産物をインターネットで全国に紹介し販売しているショッピングサイト。地元農家の方々に応援するために、2009年から運営しています。現在、加盟していただいている農家さんは14軒です。

# 今回は、東御市柵津の「みゆき農園」さんをご紹介します。

みゆき農園の野中剛さんは福岡のご出身。奥様のみゆきさんは東京生まれです。剛さんは、ブドウ栽培を始められる前は、音響機器の設計開発のお仕事をなさっていました。新規就農者を募集している行政を探していると、東御市とめぐり会い、移住して来たそうです。もちろん、ブドウ栽培の経験はなく、すべてのことがゼロからのスタート。それは15年前のことでした。

## 最初から最後まで、すべて自分のチカラでつくりたい。

剛さんが携わっていたのは音響メーカーの回路設計です。工業製品ができるまでは、大きく「設計」と「製造」の工程に分かれます。設計部門では、当然、製造工程のことを考慮して設計するわけですが、直接的に製造に関わることはありません。いわゆる分業です。これは大手のメーカーでも町工場でも同じこと。そんななかでも剛さんは、設計というお仕事に、それなりのやり甲斐を感じていました。ただ、心の奥に、『すべての過程を自らのチカラで成し遂げられる仕事をしてみたい』という強い想いがあったので

## 大好きなブドウを徹頭徹尾つくるのが、いまや天職。

野中さんが選んだ農業は、大好きなブドウをつくることでした。『里親』は東御のブドウづくりの達人。1年間、みっちり修業を積みました。基本をしつかり習得し、2004年には独り立ち。ご夫婦でハウスと露地でのブドウ栽培が始まります。ブドウにかける袋の研究をするなどエンジンア魂を発揮したり。理論が通じない自然の気まぐれさを思い知ったり。一喜一憂の15年間。いまでは、巨峰はもとより、シャインマスカット、ナガノパールなど、ブドウ好きの本人が納得のいく品質のブドウをつくっています。好きこそ物の上手なれ。みゆき農園のブドウはご夫婦の愛情でいっぱいなんです。



# あなたが精魂を込めて育てた農作物を、インターネットで販売してみませんか？



「農家直売どっとこむ」には、本当に良い品だけを適正な価格で、生産者の畑から消費者に直接届ける仕組みがあります。

「農家直売どっとこむ」運営・お問い合わせ窓口

TEL:0268-71-0015 電話受付時間:午前10時より午後4時まで

# 草刈り作業を代行いたします。

草を刈らなくてはいけないのに、時間がなかつたり、人手不足だったり。草刈りでお悩みの方のために、唐沢農機サービスが「草刈り代行」を始めました。まずはお気軽にお問い合わせください。TEL 0268-62-5262

